

1 防災広報の例（岩波防災会）



岩波町内会の皆様へ

平成30年9月27日

岩波自主防災会
会長 伊藤 則久

平成30年度 岩波町内会 自主防災訓練 の実施についてお知らせ

朝夕はめっきり冷え込んできておりますが、皆様にはお変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。又、常日頃町内会活動にご協力いただき、誠に有り難う御座います。
標記について下記の要領で、①情報の伝達訓練 ②災害に備えての講習会 ③炊き出し訓練を行いますので、皆様の多数のご参加をお願いいたします。

記

1. 訓練内容： 山形盆地断層帯を震源域とする巨大地震が発生し、町内会全戸に避難を指示し、全員避難する訓練を行います。

2. 日時 10月21日(日) 午前10時から

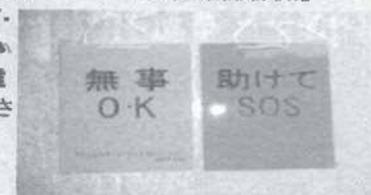
3. 情報伝達訓練

10:00 ・山形市を中心に震度5弱以上の地震が発生し避難指示が発令
町内会長は、各隣組長へ直ちに避難場所(岩波公会堂)に避難するよう指示
・各隣組長は、各組の全戸に避難指示を通知し、各組の一時避難場所に集合するよう通知。

●：町内会の皆様は

組長さんから避難指示の連絡があったら速やかに「安否確認標識」(赤：助けて・緑：無事)のどちらかを玄関の見やすい場所に掲示してから、各組の一時避難場所に集合して下さい。その後、組長さんの指示にしたがって下さい。

「安否確認標識」



4. 災害に備えての講習会 10:45～11:45 講師は山形市防災対策課

5. 炊き出し訓練 11:45～ 岩波女性防火クラブ
(今年は、美味しい豚汁等を準備する予定です。是非ご賞味下さい。)

6. 訓練終了 12:45頃

尚、当日は、雨天決行とします。

岩波町内会自主防災会では、大きな地震の際には「安否確認標識」(赤：助けて 緑：無事)を玄関の見やすい場所に掲示することで安否確認を行うことになっており、防災訓練のお知らせにも明記しています。訓練時には「安否確認標識」の掲示を呼びかけます。より多くの人に参加してもらうとともに防災意識を啓発するための工夫がされた防災広報の例です。

2 防災アンケートの例（十日町三区町内防災会）

防災度チェック①

あなたはだいじょうぶ？

今回の3.11 東日本大震災のとき、あなたはどんな行動をしましたか？何か困ったことはありませんでしたか？ いま一度家族みんなで防災意識をチェックしてみませんか？ できているところには□に✓チェックして確認してみましょう。

1. □ 地震に備えて家具の固定やガラスの飛散防止対策などをやっていますか？
2. □ 消火器を用意したり、風呂水をすぐ流さないでためたりと、初期消火に備えていますか？
3. □ 自宅や勤め先・通学先での避難場所を知っていますか？
4. □ 避難場所までの安全な道順を家族全員がわかっていますか？
5. □ 「いざ」というときの家族や親戚などへの連絡方法がわかっていますか？
6. □ 非常持出品などの防災用品はそろえてありますか？
7. □ 保険証や通帳などのコピーをとって保管していますか？
8. □ テレビや新聞などでの災害情報に気を付けていますか？
9. □ 地域の防災訓練や防災組織などに参加したことがありますか？
10. □ ご近所の人とは顔見知りで、町内会などの行事に参加していますか？

あなたの防災意識度チェック結果は

☑が8～10個 防災意識がとても高いといえます。

☑が5～7個 一応、防災意識はありますが、足りない点を補いましょう。

☑が0～4個 残念ながら防災意識が高いとはいえません。防災は他人ごとではありません。もう一度見直して、できることから災害への備えをしていきましょう。

次回は「災害に備えた家庭常備品」のチェックをします。

防災に関するご意見ご要望などがありましたら、町内防災会総括部(☎***-**** ●●)までご連絡ください。

防災度チェック②

3.11 東日本大震災から7年、熊本地震から2年が経ちました。

そこでもう一度、我が家(わたし)の防災対策を再確認してみましょう。

今回は非常持出品や非常用家庭備蓄品をチェックします。

すでに備えているものには、□に✓して確認してみましょう。

① 非常時持出袋に入れておくもの(避難する際にまず最初に持ち出すものです)

- 飲料水(ペットボトル・水筒等1人につき1日3リットルが目安)
- 食料(カンパン、ビスケット、チョコレート、あめ等すぐ食べられるもので、3日分が目安)
- 懐中電灯と予備電池 ろうそく、マッチ・ライター(ビニール袋に入れて)
- 携帯ラジオと予備電池 常備薬 救急用品(消毒薬、絆創膏、包帯等)
- 着替用の下着類(保温性のよいもの) 生活用品(洗顔セット、サランラップ、ロープ等)
- 非常持出袋(品物を入れた総重量は10kg以下の背負って走れる程度の重さに抑えましょう)

② 家族構成に応じて準備しておくもの(日ごろ使用しているものを中心に)

- (1) 高齢者・身障者・病人のいる家庭では 常備薬とお薬手帳 介護用品等
- (2) 赤ちゃんのいる家庭では ミルク 哺乳ビン 紙おむつ ウエットティッシュ
- (3) その他 衛生用品(メガネ、コンタクトレンズ、入れ歯、生理用品等)

③ 避難するときに必要なもの(非常用持出袋とは別に携帯してもよいものです)

- 携帯電話と非常用充電器 ヘルメット・防災ずきん・帽子 軍手、タオル、マスク等
- 貴重品(通帳・印鑑[別々に保管]) 免許証、健康保険証等 家の合鍵、車の鍵等
- 現金(小銭も含めて) 筆記用具(油性ペンやノート) ビニール雨具・シート
- ホイッスル(呼子) ★寒い時期には 使い捨てカイロ

④ その他、あれば便利な備蓄品・避難場所から一時的に自宅に戻れた場合等に使用するもの

- 缶詰 割り箸、缶切り、ナイフ 紙食器・コップ ビニール袋(大・中・小)
- 毛布 カセットコンロとガスボンベ 梱包用のひもや布テープ
- 飲料水の保存容器(ポリタンク・ペットボトル) 水を運び貯める容器(バケツ・ビニール袋)

★風呂の水や水洗トイレタンクの水等も役に立ちます。風呂の水はいつも張っておきましょう。

☆我が家でとくに必要なものを追加しておきましょう。

非常持出品や備蓄品は
定期的に点検しましょう

- _____ _____
- _____ _____

防災に関するご意見ご要望等ありましたら、町内防災会総括部(☎***-**** ●●)までご連絡ください。

山形市自主防災組織
活動マニュアル

平成31年3月

編集発行 山形市総務部防災対策課
〒990-8540 山形市旅籠二丁目3-25
電話 023-641-1212